

2025年度 大学院学生募集要項

青山学院大学大学院 経済学研究科

- 経済学専攻
- 公共・地域マネジメント専攻

博士前期課程

一般入試 (秋)
一般入試 (春)

目 次

青山学院教育方針・青山学院大学の理念・沿革・役職員・学位	2
アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）	3
募集人員・入試日程・試験科目	4
出願資格	5
出願書類	6
出願手続・入学検定料・合格発表	8
入学手続・注意事項・授業キャンパス・授業時間について	9
学費等について	10
教員組織（経済学専攻）	11
別表（経済学専攻 第1次筆記試験 選択受験科目	12
教員組織（公共・地域マネジメント専攻）	13
公共・地域マネジメント専攻出願者への補足説明	14

受験上の配慮について

障がいがあり、受験および就学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立って学務部教務課（経済学研究科担当）に問い合わせてください。なお、場合によっては健康診断書等の提出を求めることがあります。

個人情報の取扱いについて

1. 受験者の個人情報は、個人情報保護法ならびに同法の趣旨に則り定められた「学校法人青山学院個人情報の取扱いに関する要綱」に基づき、適正に取り扱います。
2. 受験者の個人情報は、入試業務ならびに当該業務に付随する連絡・通知等、本研究科の教育事業に必要な範囲でのみ使用いたします。利用目的達成後は個人データの漏洩・滅失・毀損の防止その他個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。ただし、個人が特定できないよう統計処理したデータは、文部科学省等に対し、その事業の適正な遂行に係る調査・研究のための資料として提供することがあります。

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人ともに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

沿革

1953 年 4 月 経済学研究科経済学専攻「修士課程」設置
1957 年 4 月 経済学研究科商学専攻「修士課程」設置
1960 年 4 月 経済学研究科経済政策専攻「博士課程」設置
1964 年 4 月 経済学研究科商学専攻「博士課程」設置
1970 年 3 月 経済学研究科商学専攻「修士課程」「博士課程」廃止
1984 年 4 月 大学院学則を改正し、「修士課程」を「博士前期課程」に「博士課程」を「博士後期課程」に変更
1991 年 4 月 経済学研究科経済政策専攻博士後期課程を経済学専攻に名称変更
2008 年 4 月 経済学研究科に公共・地域マネジメント専攻博士前期課程を設置
2010 年 4 月 経済学研究科に公共・地域マネジメント専攻博士後期課程を設置

役職員

学 長	稲 積 宏 誠
経済学研究科長	井 上 孝
経済学専攻主任	安 井 健 悟
公共・地域マネジメント専攻主任	須 田 昌 弥

学位

経済学専攻	修士（経済学）
公共・地域マネジメント専攻	修士（経済学）

アドミッションポリシー（入学受入れの方針）

《 博士前期・修士課程 》

本学大学院博士前期課程・修士課程では、各専攻が求める人材を、さまざまな形式の入学試験を通して以下の能力等に照らして受け入れる。

- ・当該専攻の研究に必要な専門知識・専門技能
- ・課題に対して論理的に思考、判断し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力
- ・本大学院の特徴を理解し、大学院における学びを追求し、社会のために還元する意欲・関心・態度

《 経済学研究科 経済学専攻 博士前期課程 》

知識・技能

経済学における基本知識に精通している。

思考力・判断力・表現力

経済学分野における課題に対して論理的に思考し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力を有する。

意欲・関心・態度

経済学分野で修得したものを社会に役立てる意欲を有している。

《 経済学研究科 公共・地域マネジメント専攻 博士前期課程 》

知識・技能

公共経済学および地域経済学における基本知識に精通している。

思考力・判断力・表現力

公共経済学および地域経済学分野における課題に対して論理的に思考し、自身の考えを的確に口頭で、かつ文章によって表現する能力を有している。

意欲・関心・態度

公共経済学および地域経済学分野で修得したものを社会に役立てる意欲を有している。

経済学研究科および各専攻の「教育研究上の目的」「カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）」「ディプロマポリシー（修了認定・学位授与の方針）」は、以下の本学ウェブサイトにてご確認ください。

経済学研究科

http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/objective.html

経済学専攻

http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/de/policy.html

公共・地域マネジメント専攻

http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/public_regional_management/policy.html

募集人員

経済学専攻 10名（一般入試(秋)(春)、学内進学者選抜試験、ウェルカム・バック入試を含む）
 公共・地域マネジメント専攻 5名（一般入試(秋)(春)、学内進学者選抜試験を含む）

入試日程

<経済学専攻>

	出願手続き 受付最終日消印有効	試験日		合格発表	入学手続
一般秋	2024年 9月 9日(月) ～ 9月11日(水)	第1次試験 筆記試験	2024年10月 9日(水) 9:30～10:30	2024年10月11日(金) 13:00	2025年 2月 7日(金)
		第2次試験 口述試験	2024年11月 6日(水)	2024年11月15日(金) 13:00	
一般春	2024年12月16日(月) ～ 12月18日(水)	第1次試験 筆記試験	2025年 1月29日(水) 9:30～10:30	2025年 1月31日(金) 13:00	2025年 3月 7日(金)
		第2次試験 口述試験	2025年 2月12日(水)	2025年 2月27日(木) 13:00	

<公共・地域マネジメント専攻>

	出願手続き 受付最終日消印有効	試験日		合格発表	入学手続
一般秋	2024年10月 9日(水) ～ 10月11日(金)	口述試験	2024年11月 6日(水)	2024年11月15日(金) 13:00	2025年 2月 7日(金)
一般春	2024年12月16日(月) ～ 12月18日(水)	口述試験	2025年 2月12日(水)	2025年 2月27日(木) 13:00	2025年 3月 7日(金)

試験科目

<経済学専攻>

- ・筆記試験（基本的な知識を問う問題）

研究指導希望教員がP.12<別表>にて指定する受験科目「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」、「計量経済学」、「経済史」、「社会経済学」より1科目を選択し、入学志願票、写真票の所定欄に○印を明記してください。

- ・口述試験（主に、研究計画書に基づき行います。）
筆記試験合格者のみ受験することができます。

<公共・地域マネジメント専攻>

- ・口述試験（主に、①研究計画書および②小論文に基づき行います。）

②小論文：「ミクロ経済学」、「公共経済学」、「地域経済学」、「経済時事」に関する論題から1つを選択してください。

ただし、EREミクロ・マクロ（日本経済学教育協会・経済学検定試験）のランクがA以上の成績を取得している場合、上記②小論文の提出を免除します。

*このランクは、小論文の水準を示すものではありません。

（注意）①研究計画書および②小論文の記載方法については、P.14「公共・地域マネジメント専攻出願者への補足説明」を必ず確認してください。

【試験についての注意事項】

1. 集合時刻・集合場所は、送付する受験票にてお知らせします。
2. 経済学専攻受験者

【筆記試験について】

試験開始から20分以上遅刻した者は、受験することができません。

【口述試験について】

経済学専攻の第2次試験は第1次試験合格者のみ受験することができます。

3. 受験票に記載された集合時刻までに集合場所に入室してください（**時間厳守**）。
4. 口述試験については、試験開始時刻に受験者控室に不在の場合は受験資格を失います。
5. 試験当日は、受験票を必ずお持ちください。万一紛失した場合は、再発行しますので学務部教務課（経済学研究科担当）[17号館2階 スチューデントセンター内]へ来室してください。

出願資格

下記のいずれかに該当する者

1. 大学を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者
2. 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2025年3月取得見込みの者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月修了見込みの者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月修了見込みの者
5. 日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2025年3月修了見込みの者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けたものによる評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年3月修了見込みの者
8. 文部科学大臣の指定した者
9. 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達したもの

注意：上記9.により出願を希望する場合、各研究科で個別の入学審査を受ける必要があります。一般入試（秋）については2024年7月10日（水）まで、一般入試（春）については2024年11月22日（金）まで（いずれも最終日必着）に、下記①～③の書類を学務部教務課 経済学研究科担当宛に郵送してください（入学資格審査を実施します）。

- ① 学歴・職歴・研究業績等を記したもの（書式自由）
- ② 最終学歴の卒業証明書および成績証明書
- ③ 志望理由書（志望動機、研究テーマおよび研究計画等について1,200字程度。書式自由）

上記の出願資格に加えて、経済学専攻に出願する場合は以下に該当する者

- ・外国籍の者（日本の大学、大学院を卒業/修了または卒業/修了見込みの者を除く）は、日本語能力試験（JLPT）（N1）の合格または日本留学試験「日本語」の合計得点が300点以上であること。

出願書類(すべて日本語でボールペンを使用して記入してください。)

出 願 書 類 (すべて日本語でボールペンを使用して記入してください。)	
入学志願票	・本学所定用紙（専攻ごとに別帳票）証明写真（4cm×3cm、カラー写真のみ）を貼付
写真票・ラベル用紙	・本学所定用紙、証明写真（4cm×3cm、カラー写真のみ）を貼付
研究計画書	・本学所定用紙（志願する専攻の書式を使用すること） ・公共・地域マネジメント専攻志願者は14ページ参照 ・面接は本書に基づいて行うので、手元にコピーを保管し、当日必ず持参すること。 ・出願者自身が作成した文章を提出すること。 ※研究計画書のWord版は専攻別に以下からダウンロードできます 研究計画書（経済学専攻） https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/ResearchPlan_Economics.docx 研究計画書（公共・地域マネジメント専攻） https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/ResearchPlan_PublicandRegionalEconomics.docx
卒業(見込)・修了(見込)証明書	・証明書は原本を提出（コピー不可）。 ・大学院修了者（見込み含む）は、大学と大学院両方の証明書を提出。 ・出身大学に編入学した者や単位認定を受けた者は、以前の大学、短期大学の卒業証明書及び成績証明書も提出すること。 ・本学の証明書は学務部教務課で代理発行するため、提出不要。 ・改姓等により、証明書記載氏名が現在の氏名と異なる場合は、氏名変更（改姓等）の事実が確認できる公的証明書（戸籍抄本等）を提出すること。 ・証明書が日本語または英語でない場合は、公的機関（当該国の大使館等）の証明を受けた日本語訳または英語訳を添付すること。 ※大使館等公的機関での証明は、その取得に時間を要するため注意すること。
成績証明書	・証明書原本が中国語で記載されている場合、「原本（中国語）」＋「翻訳（日本語もしくは英語）」＋「翻訳が正しいことを証明する公的な機関による公証書」の提出が必要。 中華人民共和国駐日本国大使館および総領事館は、中国国内で発行された各種証明書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証 を発行しないため、中国国内の各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において、公証手続きを行うこと。 ※公証処での証明は、その取得に時間を要するため注意すること。
学位取得証明書 【中国の教育機関（香港、台湾、マカオの大学は除く）を卒業・修了した者のみ】	・証明書は原本を提出すること。（コピー不可） ・証明書原本が中国語で記載されている場合は、上記証明書（卒業・修了証明書、成績証明書）提出時の注意事項に記載されている、「・証明書原本が中国語で記載されている場合…」と同様の手続きを行うこと。
学位認証の手続き 【中国の教育機関（香港、台湾、マカオの大学は除く）を卒業・修了した者のみ】	・必ずCHSI（中国高等教育学生信息网）から下記の通りに学位認証（<u>Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate</u>）の手続きを行うこと。 1) https://www.chsi.com.cn/ にアクセスし出願者自身でオンライン申請を行う。（英文で認証を受けること）

	2) 電子認証報告メールをCHSI（中国高等教育学生信息网）から直接青山学院大学へ送信されるよう申込む。 ・CHSI から直接本学に出願期間までに届くメールに限り有効とする。 ・出願者本人が受領し、青山学院大学へ転送した認証書は無効。 認証が行われるまでに時間を要す場合があるため、早めに手続を行うこと。 【電子認証報告メール送信先】 青山学院大学経済学研究科担当：in-keizai@aoyamagakuin.jp
日本語能力に係る証明書 【経済学専攻のみ】 【外国籍者のみ】 ※日本の大学・大学院を卒業/修了（見込）の者は提出不要	・経済学専攻に出願する外国籍の者は以下①②のいずれかを提出すること。 ① 日本語能力試験（JLPT） （N1）合格を証明する『合否結果通知書』または『日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書』の原本 ② 日本留学試験（日本語） 300点以上取得を証明する『成績確認書』のコピー
住民票またはパスポートのコピー 【外国籍者のみ】	以下①②のいずれかを提出すること。 ① 住民票（在留資格、在留期間等、在留期間等の満了の日、在留カード等の番号が記載されたもの） ② パスポートの顔写真ページのコピー（※氏名、国籍が確認できるページ）
小論文 【公共・地域マネジメント専攻のみ】	・本学所定用紙 ※小論文記入用紙のWords版は以下からダウンロードできます。 https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2024/06/Short-essay_PublicandRegionalEconomics-2.docx ※小論文の免除を希望する場合は、出願期間の最終日から遡って6か月以内に実施されたEREミクロ・マクロ（日本経済学会・経済学検定試験）のうち、出願者が受験したA以上の成績証明書を提出すること。また、P.14「公共・地域マネジメント専攻出願者への補足説明」を確認すること
出身校の ・修了（見込）証明書、 ・成績証明書、 ・学位取得証明書または学位申請にかかわる証明書 【右記該当者のみ】	【独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学位を申請して学位を取得した者または学位取得見込みの者】 ・上記に該当する者は、出身校の左記証明書を必ず提出すること。
収納証明書/振込通知書貼付用紙	・入学検定料の「振込通知書」（大学院提出用：金融機関の収納印の押されたもの）または「収納証明書」を貼付したものを提出。

出願手続

出願はすべて郵送受付とします。また、出願した旨をメールでもお知らせください。

1. 出願の際は、出願書類を角形2号封筒（240×332mm）に入れ、郵便局窓口で簡易書留・速達郵便扱いの手続きをして郵送してください。封筒の表面には、必要事項を記入した出願用封筒表紙（本学所定用紙）を貼付してください。
2. **学務部教務課（経済学研究科担当）へ出願書類郵送の旨をメールでお知らせください。**
出願後、試験に関するご連絡をメールにて行う場合があります。メールの本文には必ず氏名を記載してください（外国籍の方はアルファベットで氏名と日本語で読み方を記載してください）。
【学務部教務課（経済学研究科担当）メールアドレス：in-keizai@aoyamagakuin.jp】
3. 出願受付後、受験票を本人宛にお送りします。
受付事務・郵便事情等により受験票の送付が多少遅れることがあります。入学試験日の3日前までに受験票が未着の場合は学務部教務課（経済学研究科担当）まで問い合わせてください。
4. 一旦受け付けた**出願書類、入学検定料は返還しません**。振込済みで出願しなかった場合は、学務部教務課（経済学研究科担当）にて返金の手続きをしてください。
5. 出願書類・入学検定料不備および受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
6. **年末年始期間（2024年12月25日～2025年1月5日）は、入試に関する各種問い合わせについては対応できません**。上記期間に問い合わせのあった場合は、2025年1月6日以降順次回答いたしますので、ご注意ください。
7. 授業料後払い制度の利用を希望する方（外国人留学生（在留資格が「留学」の方）は、出願期間中に授業料納付猶予手続きを取ってください。手続きの詳細は、P-10掲載の申請要項のURLもしくはQRコードを参照ください。

入学検定料

35,000円

支払方法

【コンビニエンスストアまたはクレジットカードで支払う場合】

別紙「コンビニ端末での入学検定料支払方法」、「クレジットカードでの検定料支払方法」を参照のうえ、お支払いください。

支払いの際に発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を、所定の貼付用紙に貼り付け、支払い方法（コンビニかクレジット）を○で囲み提出してください。

【金融機関から振り込む場合】

所定の振込依頼書を使用し、郵便局・ゆうちょ銀行以外の日本国内の金融機関窓口より振り込んでください（ATM およびインターネットバンキング等は不可）。出願受付期間を過ぎてからは振り込みできません。また、金融機関窓口営業時間にご注意ください。金額が訂正されたものや収納印がないものは無効です。

金融機関窓口で入学検定料を振り込んだ際に受け取った「振込通知書（大学院提出用）」を、所定の貼付用紙に貼り付けて提出してください。

合格発表

大学ホームページ「大学院入学試験等に関するお知らせ」（下記URL）にて発表します。

また、合格者には入学手続書類を郵送にて送付します。

<https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html>

入学手続

入学手続はすべて郵送受付となります（締切日消印有効）。

※ 詳細は合格者に送付される「入学手続要項」を参照してください。

注意事項

1. 本大学院では既に他の大学院で修得した単位を本学の単位として認定する制度がありますので、希望者は申し出てください（ただし、入学年度の4月初頭に限りです）。
2. 卒業見込みで出願していた者で、2025年3月末日までに卒業できなかった場合は、入学資格を満たせなかったこととなりますので、入学手続を完了していても本大学院に入学することはできません。
3. 本学学生は、他大学大学院および本学の他研究科または他専攻、ならびに他大学および本学の学部と併せて在学することはできません。また、他大学大学院を修了または修了見込の者は、成績証明書および修了証明書または修了見込証明書を必ず提出してください。
4. 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。
5. 受験、入学手続などに関する問い合わせは、学務部教務課（経済学研究科担当）にしてください。ただし、合否に関する問い合わせには一切応じません。
6. 出願書類への虚偽の記載や証明書等の偽造が確認された場合は、入学試験の結果を無効とし、入学後であっても遡って入学の資格を取り消すことがあります。その場合、提出された書類およびそれまでに納入された費用については返還しません。
7. 教育職員免許状や各種資格（司書教諭、司書、社会教育主事、学芸員）の取得に関する不明点については、出願前に教職支援センター[電話 03-3409-9634]に問い合わせてください。
8. **（外国人留学生の在留資格「留学」取得に関する注意事項）**
一般入試（春）を受験し合格した者で、在留資格がなく新たに取得する必要がある場合、在留資格取得手続きが入学までに間に合わない可能性があります。在留資格のない場合は、一般入試（秋）での出願を推奨します。

大規模災害等により、当初の試験日、選抜方法以外の選抜方法（出願書類、Web面接など）により、合否判定をおこなう場合があります。

授業実施キャンパス

授業は、青山キャンパス（東京都渋谷区渋谷4-4-25）で実施します。

授業時間について

時限	第1時限	礼 拝	第2時限	昼休み	第3時限	第4時限	第5時限
時間	9 : 00 ～ 10 : 30	10 : 30 ～ 11 : 00	11 : 00 ～ 12 : 30	12 : 30 ～ 13 : 20	13 : 20 ～ 14 : 50	15 : 05 ～ 16 : 35	16 : 50 ～ 18 : 20

学費等について

2025 年度 学費等の内訳及び入学手続納入金（予定）

費 目		金 額	備 考
学 費	入 学 金	290,000 円	入学時のみ
	授 業 料	217,500 円	年額 435,000 円(後期分 217,500 円は後期納入)
	在 籍 基 本 料	40,000 円	年額 80,000 円(後期分 40,000 円は後期納入) 毎年納入
	施 設 設 備 料	25,000 円	年額 50,000 円(後期分 25,000 円は後期納入) 2 年次前期・後期 各 25,000 円
	教 育 活 動 費	13,000 円	年額 26,000 円(後期分 13,000 円は後期納入) 毎年納入
	(小 計)	585,500 円	
諸 会 費	後 援 会 費	2,500 円	年額 5,000 円(後期分 2,500 円は後期納入) 毎年納入
	学 会 費	2,000 円	年額 4,000 円(後期分 2,000 円は後期納入) 毎年納入
	校 友 会 費	◎ 30,000 円	入学時のみ(注)
	(小 計)	34,500 円	
入学時納入金合計		620,000 円	(後期分学費等含まず)
初年度納入金合計		920,000 円	後期分学費等 300,000 円を含む

(消費税は課税されません)

(注) ◎印の校友会費は、退学、除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還を受けることができます。

1. 後期分学費等の納入について

入学手続時に後期分学費等を併せて納入することもできます。

2. 学費等の改定について

今後、経済情勢に応じ、学費等の改定が行われた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。

3. 入学金および交友会費について

本学の学部及び大学院博士前期(修士)課程出身者については次の通りとします。

① 入学金

本学学部卒業者(見込みを含む)：全額免除

本学大学院博士前期(修士)課程修了者(見込みを含む)：全額免除

② 校友会費

本学出身者(学部卒業者および大学院修了者)：納入不要

4. 「入学辞退願」提出について

本大学院の入学手続を完了した後、やむを得ぬ事情により入学を辞退することになった場合、「入学辞退願」が 2025 年 3 月 31 日(月) 17 時(窓口閉室時間)までに受理されたものは、入学金を除く納入金を返還いたします(郵送の場合は、簡易書留郵便で 2025 年 3 月 31 日(月)消印有効)。詳細は、合格者に送付する入学手続要項をご参照ください。

5. 授業料後払い制度について

国による大学院修士段階における「授業料後払い制度」の利用を希望する方は、以下 URL もしくは QR コードより申請要項を確認の上、必要な手続きをとってください。

※外国人留学生(在留資格が「留学」の方)は申請対象外です。

【申請要項 URL】

https://www.aoyama.ac.jp/wp-content/uploads/2024/03/af_shougakukin_Inatobarai.pdf

【申請要項 QR コード】



教員組織 (2025年度予定)

※各教員の研究テーマ・研究業績は「経済学研究科パンフレット」、または青山学院大学ウェブサイト内「教員紹介」(http://www.aoyama.ac.jp/faculty/graduate_economics/staff.html)で確認してください。

経済学専攻 次ページ《別表》で第1次(筆記)試験の選択科目を確認してください。

職名	氏名	専門分野	担当科目(予定)
教授	○ 伊藤 万里	国際経済学、貿易論、 多国籍企業論	国際経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 落合 功	日本経済史	日本経済史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 高 準亨	国際金融経済論	国際金融経済論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 白井 邦彦	労働経済論、労使関係論、労使関係 史	産業労働論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 白須 洋子	コーポレート・ファイナンス、 リスク管理	ファイナンス研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 代田 豊一郎	マクロ経済学、金融政策論	金融理論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 芹田 敏夫	理論経済学	ミクロ経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 高嶋 修一	日本経済史、日本経営史、 日本近現代史	現代日本経済史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 中村 隆之	経済学史	経済学史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 永山 のどか	近現代西洋経済史	現代西洋経済史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	馬場 弓子	応用ゲーム理論	応用ゲーム理論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 平出 尚道	西洋経済史	西洋経済史研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 松尾 孝一	社会政策、労働経済論	社会政策研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	松本 茂	応用厚生経済学	環境経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 水上 英貴	メカニズム・デザイン、 ゲーム理論、ミクロ経済学	ゲーム理論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 宮城島 要	社会選択理論、厚生経済学、 公共経済学	公共経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 元山 斉	統計学、計量経済学	統計学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 安井 健悟	労働経済学、応用計量経済学	労働経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 矢吹 初	財政学、地方財政論	財政学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 吉田 健三	社会保障論、社会政策論、財政学、 アメリカ経済論、証券経済論	社会保障論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
准教授	○ 川上 圭	マクロ経済学、金融論	経済成長理論研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	○ 川崎 玉恵	数理統計学、多変量解析	データ解析研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ
	脇 雄一郎	マクロ経済学	マクロ経済学研究Ⅰ・Ⅱ、同演習Ⅰ・Ⅱ

注：○印は研究指導担当教員

《別表》 経済学専攻 第1次（筆記）試験 選択受験科目

希望する研究指導教員の「○」が付いている科目から1科目を選択し、入学志願票、写真票の所定欄に○印を明記してください。

職名	氏名	ミクロ経済学	マクロ経済学	計量経済学	経済史	社会経済学
教 授	伊藤 万里	○				
	落合 功				○	
	高 準亨		○			
	白井 邦彦				○	○
	白須 洋子	○	○	○		
	代田 豊一郎			○		
	芹田 敏夫	○				
	高嶋 修一				○	
	中村 隆之	○	○		○	○
	永山 のどか				○	
	（馬場 弓子）	（○）	（○）	（○）	（○）	（○）
	平出 尚道				○	
	松尾 孝一				○	○
	（松本 茂）	（○）		（○）		
	水上 英貴	○				
	元山 斉			○		
	安井 健悟	○		○		
	矢吹 初	○				
	吉田 健三	○	○	○	○	○
准教授	川上 圭	○	○	○		
	川崎 玉恵			○		
	宮城島 要	○				
	（脇 雄一郎）		（○）			

注：（ ）の教員は2025年度学生募集において指導教員として希望できません。

公共・地域マネジメント専攻

職 名	氏 名	専門分野	担当科目(予定)
教 授	井上 孝	地域人口論、人口学	地域人口論演習
	須田 昌弥	地域経済学、都市経済学、空間経済学	産業集積論研究、空間経済学演習
	高橋 朋一	G I S、システム工学	基礎地理情報システム、空間情報演習
	田中 耕市	経済地理学	都市空間論研究、同演習
	西川 雅史	経済政策論、公共選択論	公共経営論研究、同演習
	藤村 学	開発経済学、国際経済学	アジア経済論研究、開発政策評価演習
	宮原 勝一	公共経済学、応用計量経済学	基礎計量経済学、公共政策論研究、同演習、ワークショップA
	吉岡 祐次	租税論、財政学、公共経済学	基礎ミクロ経済学Ⅰ、租税理論研究、同演習
准 教 授	田中 鮎夢	国際経済学、文化経済学、自然災害の経済学	グローバル経済論研究、同演習
	矢崎 之浩	政治経済学、公共経済学	地方財政理論研究、同演習
兼任講師 ※	麻生 良文		法と経済学研究、公共経済学特殊講義B
	尾上 選哉		公会計論研究
	大滝 英生		基礎マクロ経済学Ⅰ、基礎マクロ経済学Ⅱ
	草野 邦明		地域人口論研究
	酒井 吉廣		アカデミックライティングB
	藤田 康範		基礎ミクロ経済学Ⅱ、地域経済学特殊講義B

※授業科目のみ担当（兼任講師は2024年度実績）

公共・地域マネジメント専攻開講科目

*太字は必修科目

A群科目

基礎ミクロ経済学Ⅰ
基礎地理情報システム

基礎マクロ経済学Ⅰ
基礎ミクロ経済学Ⅱ

基礎計量経済学
基礎マクロ経済学Ⅱ

B群科目

地方財政理論研究
公共経営論研究
地域人口論研究
租税理論研究
公会計論研究
地域経済学特殊講義A

公共経済理論研究
産業集積論研究
グローバル経済論研究
法と経済学研究
公共経済学特殊講義A
地域経済学特殊講義B

公共政策論研究
都市空間論研究
アジア経済論研究
非営利組織研究
公共経済学特殊講義B

C群科目

プロジェクト演習A
地方財政理論演習
公共経営論演習
地域人口論演習
開発政策評価演習
ワークショップB

プロジェクト演習B
公共経済理論演習
空間経済学演習
空間情報演習
租税理論演習
アカデミックライティングA

プロジェクト演習C
公共政策論演習
都市空間論演習
グローバル経済論演習
ワークショップA
アカデミックライティングB

公共・地域マネジメント専攻出願者への補足説明

(1) 研究計画書（本学所定用紙）

① 研究テーマの概要

主に、以下の点に留意して記述してください（すべてを満たす必要はありません）。

a) 問題意識

どのような問題があり、なぜその問題を研究しようと考えたのか、研究の動機や背景などを具体的に記述してください。

b) 研究の目的と方法

何を明らかにしたいか、先行研究などの文献を適宜引用して具体的に記述してください。

また、学問領域や理論的枠組みなど、理論分析なのか、実証分析なのかといった具体的な研究方法を記述してください。

c) 参考文献リスト

「研究目的と方法」で引用もしくは参考にした文献がある場合や、研究に関連して今後読む予定の文献がある場合に記述してください。

② これまで履修してきた講義、演習（ゼミナール）等と研究テーマとの関連性

学部在学中に履修した専門科目のうち、研究テーマに関連すると思われるものをできる限り具体的に記述してください。社会人の志願者は大学や職場などで習得したことと研究テーマとの関連性を記述してください。

③ 研究を進める上で、必要と考える専門知識や専門科目

本専攻で履修したいと考える専門科目は、開講の有無に関わらずできる限り具体的に記述してください。

また、研究に関連する専門知識や技術を研究科在学中のどの時期に習得し、学術論文（修士論文）を作成する予定であるかを、1年次前期・後期、2年次前期・後期に分けて記述してください。

(2) 小論文（本学所定用紙）

① 小論文（表紙）

② 記入用紙：3ページ以内で記述してください（A4サイズを超える用紙を折って貼付しないこと）。

※ 提出に際しては、上から①小論文（表紙）、②記入用紙1～3の順に重ね、左上をホチキスで留めてください。

※ 小論文提出の免除を希望する場合は、出願期間の最終日から遡って6か月以内に実施されたEREミクロ・マクロ（日本経済学教育協会・経済学検定試験）のうち、出願者が受験したA以上の成績証明書を提出してください。

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
【青山学院スクール・モットー】

青山学院大学大学院
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
電話：03-3409-9526 (学務部教務課 経済学研究科担当)

青山キャンパス アクセスマップ
<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html>

青山キャンパス 構内案内
<http://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/aoyama.html>

2025年度

(秋 ・ 春)

いずれかを○で囲む

	ミクロ経済学		マクロ経済学		計量経済学		経済史		社会経済学
--	--------	--	--------	--	-------	--	-----	--	-------

本学出身者は記入すること

学生番号							演習担当者名 (履修している場合)	
------	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

記入例

入学志願票

2025年度

青山学院大学大学院 経済学研究科
経済学専攻 博士前期課程 一般入試

(秋 ・ 春)
いずれかを○で囲む

* 「筆記試験」の選択受験科目に○印を記入すること（大学院学生募集要項《別表》を確認してください）

☒ ミクロ経済学	☐ マクロ経済学	☐ 計量経済学	☐ 経済史	☐ 社会経済学
---	------------------------------	-----------------------------	---------------------------	-----------------------------

フリガナ アオヤマ タロウ	性別	受験番号	写真貼付 1. 4×3cm 枠なし 2. 上半身正面脱帽 3. 最近3カ月以内 撮影のもの 4. 全面糊付け 5. 裏面に氏名記入 6. カラー写真
氏 名 青山 太郎 ※外国籍の方はパスポートまたは住民票と一致するアルファベット氏名を記入してください。	男	※記入不要	
生年月日（西暦） XXXX 年 XX 月 XX 日 （ XX 歳）			
本籍地 東京都・道・府・県（外国籍の場合は国籍を記入のこと）			

現住所 〒 150 - 8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
電話番号 03-3409-9526 携帯電話 090-1234-XXXX
メールアドレス in-keizai@aoyamagakuin.jp

学歴 ※高等学校以降のすべての学歴を記入すること。枠内に収まらない場合は別添も可とする。

青山学院	高等学校	(西暦)	XXXX 年 3 月 卒業
青山学院	大学	経済 学部	経済 学科 XXXX 年 3 月 入学
青山学院	大学	経済 学部	経済 学科 XXXX 年 3 月 卒業・卒業見込
年 月			
年 月			

※中国の教育機関を卒業・修了した者は、必ずCHSI（中国高等教育学生信息网）から学位認証の手続きを行うこと。

日本語学習歴（日本語を母語としない者のみ記入）

該当がある場合は記入してください。	学校	(西暦)	年 月 入学
	学校		年 月 卒業・在学中

職歴（非常勤・アルバイト・嘱託等は、記入不要）

該当がある場合は記入してください。	(西暦)	年 月 ～ 年 月 退職・在職中
		年 月 ～ 年 月 退職・在職中

学部における研究主題	学部における研究主題を記入してください。
学部における主な研究内容	
学部における主な研究内容を記入してください。	

希望する研究指導教員 (学生募集要項で○印が記載された教員1名を記入)	募集要項で○印が記載された教員1名を記入してください。
--	-----------------------------

本学出身者は記入すること

学生番号								演習担当者名 (履修している場合)	
------	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

入学志願票

2025年度

青山学院大学大学院 経済学研究科 (秋 ・ 春)
公共・地域マネジメント専攻 博士前期課程 一般入試 いずれかを○で囲む

フリガナ	性別	受験番号	写真貼付 1. 4×3cm 枠なし 2. 上半身正面脱帽 3. 最近3カ月以内 撮影のもの 4. 全面糊付け 5. 裏面に氏名記入 6. カラー写真	
氏 名		※記入不要		
生年月日（西暦）	年	月		日（ 歳）
本籍地	都 ・ 道 ・ 府 ・ 県 （外国籍の場合は国籍を記入のこと）			
現住所 〒 _____ _____				
電話番号		携帯電話		
メールアドレス		@		
学歴 ※高等学校以降のすべての学歴を記入すること。枠内に収まらない場合は別添も可とする。				
高等学校 (西暦) 年 月 卒業				
大学	学部	学科	年 月 入学	
大学	学部	学科	年 月 卒業 ・ 卒業見込	
年 月				
年 月				
※中国の教育機関を卒業・修了した者は、必ずCHSI（中国高等教育学生信息网）から学位認証の手続きを行うこと。				
日本語学習歴（日本語を母語としない者のみ記入）				
学校 (西暦) 年 月 入学				
学校 年 月 卒業 ・ 在学中				
職歴（非常勤・アルバイト・嘱託等は記入不要）				
(西暦) 年 月 ～ 年 月 退職 ・ 在職中				
年 月 ～ 年 月 退職 ・ 在職中				
学部における研究主題				
学部における主な研究内容				

本学出身者は記入すること

学生番号									演習担当者名 (履修している場合)	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

記入例

入学志願票

2025年度

青山学院大学大学院 経済学研究科

(秋・春)

公共・地域マネジメント専攻 博士前期課程 一般入試

いずれかを○で囲む

フリガナ アオヤマ タロウ	性別	受験番号
氏名 青山 太郎	※記入不要 男	
※外国籍の方はパスポートまたは住民票と一致するアルファベット氏名でを記入してください。		
生年月日（西暦） XXXX年 XX 月 XX 日 （ XX 歳）		
本籍地 東京都・道・府・県（外国籍の場合は国籍を記入のこと）		
現住所 〒 150 - 8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25		
電話番号 03-3409-9526 携帯電話 090-1234-XXXX		
メールアドレス in-keizai@aoyamagakuin.jp		
学歴 ※高等学校以降のすべての学歴を記入すること。枠内に収まらない場合は別添も可とする。		
青山学院 高等学校 (西暦) XXXX 年 3 月 卒業		
青山学院 大学 経済 学部 現代経済デザイン 学科 XXXX 年 3 月 入学		
青山学院 大学 経済 学部 現代経済デザイン 学科 XXXX 年 3 月 卒業・卒業見込		
年 月		
年 月		
※中国の教育機関を卒業・修了した者は、必ずCHSI（中国高等教育学生信息网）から学位認証の手続きを行うこと。		
日本語学習歴（日本語を母語としない者のみ記入）		
該当がある場合は記入してください。 学校 (西暦) 年 月 入学		
学校 年 月 卒業・在学中		
職歴（非常勤・アルバイト・嘱託等は記入不要）		
該当がある場合は記入してください。 (西暦) 年 月 ～ 年 月 退職・在職中		
年 月 ～ 年 月 退職・在職中		
学部における研究主題 学部における研究主題を記入してください。		
学部における主な研究内容		
学部における主な研究内容を記入してください。		

本学出身者は記入すること

学生番号								演習担当者名 (履修している場合)	
------	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

受験番号 ※記入不要
フリガナ
氏名

研究科	経 済 学	研究科
専 攻		専 攻
課 程	博士前期課程	
種 別	一般（秋） ・ 一般（春）	

写真貼付

1. 4×3cm 枠なし
2. 上半身正面脱帽
3. 最近3カ月以内
撮影のもの
4. 全面糊付け
5. 裏面に氏名記入
6. カラー写真

*経済学専攻志願者は、「筆記試験」の選択受験科目に○印を記入してください（学生募集要項P.15参照）

* ☐	ミクロ経済学	* ☐	計量経済学	* ☐	社会経済学
* ☐	マクロ経済学	* ☐	経済史		

キリトリ

(住所)

フリガナ
(氏名)

様

研究科	専 攻
経済学	専攻

宛名ラベル用紙(1)

キリトリ

(住所)

フリガナ
(氏名)

様

研究科	専 攻
経済学	専攻

宛名ラベル用紙(2)

キリトリ

(住所)

フリガナ
(氏名)

様

研究科	専 攻
経済学	専攻

宛名ラベル用紙(3) 経済学専攻のみ

キリトリ

1) 写真票に証明写真（ $4\text{cm} \times 3\text{cm}$ 、カラー写真のみ）を貼付のうえ、宛名ラベル用紙と切り離して提出してください。
種別欄は該当するものを○で囲んでください。

2) 宛名ラベル用紙(1)、(2)、(3)は受験票および合格者書類送付用です。
送付先住所、氏名、専攻を記入のうえ、3枚それぞれを切り離して提出してください。
（経済学専攻のみ（3）まで提出してください）

研究計画書

氏 名	フリガナ	受験番号	※記入不要
入学後の研究主題			
【注意】 1. 枠内に入力してください。 2. 3 ページに収まるよう記述してください（①～④の配分は適宜変更しても構いません）。 3. 出願者自身が作成した文章を提出してください。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出は禁じます。 4. 研究計画書はコピーして手元に保管し、口述試験の際、持参してください。			
① 研究テーマの概要 （大学院でどのような問題を研究対象に取り上げ、どのような分析方法で研究を進めたいと考えているのかを記述してください。必要に応じて参考文献を引用してください。）			

氏 名		受験番号	※記入不要
②これまで履修してきた講義、演習（ゼミナール）等と研究テーマの関連性 （学部在学中に研究テーマに関連してどのような専門科目を履修したのか、また既にどのような知識を習得できているのかを具体的に記述してください。社会人の志願者は職場などで修得した知識と研究テーマの関連性を記述してください。）			

氏 名		受験番号	※記入不要
③ 研究を進める上で、必要と思われる専門知識や専門科目 (研究を進めていくために現在どのような知識が不足しているのか、また大学院進学後にどのような授業を履修することで必要な知識を習得しようと考えているのかをできる限り具体的に記述してください。)			
④ 指導教員について (どのような理由で指導教員を選定したのか、また指導教員からどのような研究指導を受けたいと考えているのかを指導教員の研究内容(著書・論文など)と大学院で研究したい内容との関係性を明確にし、説明してください)			

研究計画書

氏 名	フリガナ	受験番号	※記入不要
入学後の研究主題			
【注意】 1. 枠内に入力してください。 2. <u>大学院学生募集要項を参照の上、記述してください。</u> 3. <u>2 ページに収まるよう記述してください（①～③の配分は適宜変更しても構いません）。</u> 4. 出願者自身が作成した文章を提出してください。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出は禁じます。 5. 研究計画書はコピーして手元に保管し、口述試験の際、持参してください。			
① 研究テーマの概要（問題意識、研究の目的と方法、参考文献リストを記述して下さい。）			

氏 名		受験番号	※記入不要
② これまで履修してきた講義、演習（ゼミナール）等と研究テーマとの関連性 （学部在学中に履修した専門科目のうち、研究テーマに関連すると思われるものをできる限り具体的に記述してください。社会人の志願者は大学や職場などで習得したことと研究テーマとの関連性を記述してください。）			
③ 研究を進める上で、必要と思われる専門知識や専門科目 （本専攻で履修したいと考える専門科目は、開講の有無に関わらずできる限り具体的に記述してください。また、研究に関連する専門知識や技術を研究科在学中のどの時期に習得し、学術論文／修士論文を作成する予定であるかを、1年次前期・後期、2年次前期・後期に分けて記述してください。）			

小論文（表紙）

氏 名	フリガナ	受験番号	※記入不要

(小論文論題)

2025 年度 一般入試（春）

以下の論題から 1 つを選択し、所定の記入用紙 3 枚以内で記述してください（図表添付可）。

論題 1

ある企業の財の生産量を y 、第 i 生産要素の投入量を x_i ($i = 1, 2$)、生産関数を $y = (x_1^{-2} + x_2^{-2})^{-0.25}$ とする。
そして、この企業はプライス・テイカーであり、財の価格を $p > 0$ 、第 i 生産要素の価格を $w_i > 0$ ($i = 1, 2$)、費用を C とする。このとき、次の各設問に解答せよ。なお、計算結果はできるだけ簡潔にまとめること。また、途中までの計算過程や考え方は必ずメモしておくこと。

(1) 生産関数の同次性と規模に関する収穫について説明せよ。
(2) x_1 に関する限界生産物を求めて、それが逓減するか説明せよ。
(3) x_1 は変数で、 x_2 は定数として、費用関数と限界費用を求めよ。
(4) 技術的限界代替率を求めて、それが逓減するか否か説明せよ。
(5) x_1 と x_2 は両方とも変数として、費用関数と限界費用を求めよ。
(6) (5)の状況を前提に、供給関数と供給の価格 p 弾力性を求めよ。
(7) (5)と(6)を前提に、 x_1 に関する要素需要関数と要素需要の価格 w_1 弾力性を求めよ。
(8) 上記と同質的な企業が財市場に n 社存在しており、この市場の需要関数は $D = a - bp$ とする(a と b は正の定数)。このとき、市場均衡での均衡価格と均衡数量を求めよ。なお、各企業の供給関数は(6)を前提にする。

論題 2

A さんと B さんの2人からなる社会の公共財供給について、以下の問いに答えなさい。解答するにあたり必要な仮定をすべて列挙すること。グラフを用いる場合、グラフが何を示しているか説明すること。

(1) 2人がそれぞれ自発的に公共財を供給する場合、社会で消費される公共財の水準は社会的に望ましい水準と必ずしも一致しないことを示しなさい。
(2) 政府が公共財を供給する状況を考える。社会的に望ましい水準の公共財を供給する方法を2人の費用負担も含めて1つ記しなさい。
(3) (2)で記した方法で公共財を供給する場合、その水準が社会的に望ましい水準になることを示しなさい。

論題 3

地域間人口移動と地域間所得格差の関係について論じなさい。理論的に考察しても、特定の国・地域についてデータに基づいて考察してもよい。

論題 4

世界銀行が刊行した *World Development Report 2024: The Middle Income Trap* を下記サイトからダウンロードし、“Overview”の部分 (pp.1-30) を読み、①「中所得国の罠」の定義とそれに当てはまっていると考えられる諸国、②「罠」にはまっている要因、そして③「罠」から脱出するための処方箋、について議論しなさい。(合計2000字以内。自動翻訳AIの乱用が判明した場合は不合格とする。)
<https://www.worldbank.org/en/publication/wdr2024>

* 選択した論題の欄に○を記して記入用紙と併せて提出してください。

論題 1	論題 2	論題 3	論題 4	得点欄※	採点者署名※

※欄は記入しないでください

氏 名		受験番号	※記入不要
-----	--	------	-------

(記入用紙 1)

【注意】

1. 枠内に印字してください（印字したものを貼り付けても構いません。ただし、枠を超える用紙を折って貼付しないこと）。
2. 参考にした文献や Web サイト情報をそのまま使用（転写・貼付：コピー＆ペースト）しないでください。
3. 引用する際は、引用であることが分かるように記述してください。引用した文献、または参考にした文献は、小論文の最後に【引用文献・参考文献】として漏れのないように記述してください。
4. 3 ページ以内で記述してください。
5. 出願者自身が作成した文章を提出してください。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出は禁じます。

氏 名		受験番号	※記入不要
-----	--	------	-------

(記入用紙 2)

--

氏 名		受験番号	※記入不要
-----	--	------	-------

(記入用紙 3)

--

<一般(春)用>

経済

振込金受取書
(兼手数料) 入学検定料

20 年 月 日			
金額	¥35,000		
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店		
受取人	預金種目 普通預金	口座番号 8 3 2 9 7 6 0	
	(学)青山学院検定(大学院A)		
御依頼人	様		
備考	手数料		
上記の金額正に受け取りました。		収納印又は振替印	
〈銀行取扱期限日〉 2024 年 12 月 18 日			

(取扱店 → 御依頼人(志願者))

《志願者が保管してください》

☆この用紙は、一般入試(春)入試用です。

<一般(春)用>

経済

振込通知書(大学院提出用)
入学検定料

20 年 月 日			
金額	¥35,000		
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店		
受取人	預金種目 普通預金	口座番号 8 3 2 9 7 6 0	
	(学)青山学院検定(大学院A)		
御依頼人	様		
備考			
上記の通り振込みました。		収納印又は振替印	
〈銀行取扱期限日〉 2024 年 12 月 18 日			

(取扱店 → 御依頼人(志願者) → 大学院)

《出願書類の一つとして郵送してください》

☆この用紙は、一般入試(春)入試用です。

<一般(春)用>

経済学研究科

振込依頼書
入学検定料

依頼日	20 年 月 日		電信扱	手数料			円
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店		金額	¥35,000			
受取人	預金種目 普通預金	口座番号 8 3 2 9 7 6 0	〈銀行取扱期限日〉 ※ 2024年 12月18日 ※期限後の取扱不可				
	がくアオヤマガクインケンテイ(ダイガクインエー) (学)青山学院検定(大学院A)						
御依頼人	打電CD	2 0 1					
	カカナ氏名						
	漢字氏名						
住所	(電話)	-	-				
※取扱銀行へお願い FB処理をしていますので、打電CD・カカナ氏名の順序で打電して下さい。							
収納印又は振替印							

(取扱店保管)

☆この用紙は、一般入試(春)入試用です。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON
Loppi

MINISTOP
Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い

お申込みの大学

をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

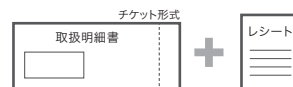
①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



②お支払い後、**チケットとレシート**の2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**払込受領証**」(Loppi)。



*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。

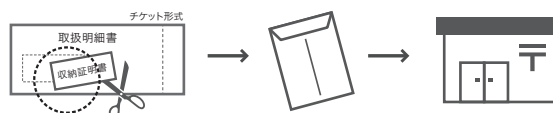
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。

*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	440円
	入学検定料が5万円以上	660円

3 出願

「**取扱明細書**」または「**払込受領証**」の
「**収納証明書**」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。



貼付する場合、「**感熱・感圧紙**」などを変色させる場合がありますと記載のある糊は使用しないでください。「**収納証明書**」が黒く変色する恐れがあります。

クレジットカードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して検定料のお支払いが可能です。



PCで下記にアクセス

<https://e-apply.jp/e/gs-aoyama>

インターネット申込・クレジットカード決済

1. トップページ

「申し込む」ボタンをクリック

2. 研究科選択

研究科を選択してください。

3. 入試選択

受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック

4. 留意事項

留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック

5. 基本情報入力

申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック

6. 申込内容確認

申込された情報を確認し、問題なければ「申し込む」ボタンをクリック

7. 受付番号確認

受付番号(12桁)を控え、「次へ」ボタンをクリック
(登録されたメールアドレスにも通知されます。)

8. クレジットカード情報入力

支払に利用するクレジットカード番号(16桁)等必要な情報を入力し、「クレジットカードにて支払う」をクリック

*お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。

9. 決済完了

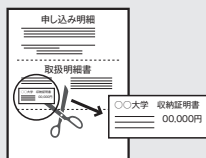
完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。

*メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から
郵送にて出願。



出願

【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- 検定料の他に、払込手数料(税込)が別途かかります。
払込手数料(税込):30,000円未満…手数料 499円、30,000円以上50,000円未満…手数料 876円、50,000円…手数料 998円
- クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。

- メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号(12桁)」「(登録時の)メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- 一度お支払された検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合わせ先」をご覧ください、
「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

①収納証明書 *コンビニエンスストア支払いもしくはクレジットカードでの支払いの場合

貼付用紙

②振込通知書（大学院提出用） *金融機関から振込の場合

◎枠内を記入してください。

【入学検定料】

研 究 科		専 攻	専 攻
受験番号 (記入不要)		課 程 ○で囲む	修 士 ・ 博士後期
フリガナ		連絡先	()
氏 名			

※連絡先には日中連絡がつきやすい電話番号を記入のこと

- ①「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、はがれないように全面のり付けしてください。

① 収納証明書 貼付欄

はがれないように全面のり付けしてください。

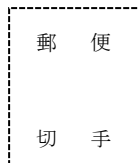
支払方法（当てはまるものに○をつけてください）

- ・ コンビニ
- ・ クレジット

- ②金融機関にて必要金額を振込後、振込通知書（大学院提出用）をはがれないように全面のり付けしてください。
金融機関の収納印の無いもの、金額が訂正されたものは無効です。

**② 振込通知書
（大学院提出用）
貼付欄**

はがれないように
全面のり付け
してください。



150-8366

東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学 学務部教務課
経済学研究科 入試願書受付係 御中

(大学院入学試験・出願書類在中)

出願期間中の消印有効

簡易書留
速達

(二つ折厳禁)

※白黒印刷の場合は左記を赤枠で囲ってください

フリガナ	
氏 名	
住 所	□□□-□□□□ TEL. ()
研究科・専攻	経済学 研究科 専攻
課 程	博士前期課程 ・ 博士後期課程
入試種別	一般入試 ・ 学内進学 ・ 卒業生対象 (ウェルカム・バック)
アンケート (複数回答可)	*本入試を何でお知りになりましたか？ 本学ウェブサイト ・ 大学院説明会 ・ 学生ポータル ポスター ・ チラシ ・ その他 ()

※ 課程、入試種別、アンケート：該当するものを○で囲んでください

(青山学院大学大学院)